（別紙4（2））

事業所名　グループホーム実夢青木

作成日：　平成　24年　　9月　29日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	モニタリングとプラン化は主に計画作成担当者とケアマネージャーがおこなっています。 現在はケアプラン会議で職員意見を反映させていますが、今後は職員がモニタリングまでできるようになりたい。	職員がモニタリングまでできるよう、育成の一環として、モニタリングの模擬会のような場をつくります。	育成の一環として、モニタリングの模擬会のような場をケアプラン会議の中でをつくっていきます。	1ヶ月
2	35	法人本部で接遇訓練を定期的におこなっていて、職員も参加しています。親しみが度を過ぎないよう配慮して、同姓の利用者や、本人の反応がよい場合には下の名前で呼んでいますが、標準化されているとは言い難い場面もあります。	派遣社員もいて、標準化されているとは言い難い場面もあるので職員確保についてあらためて検討します。	法人本部と連携をとり職員の確保をすすめていきます。	6ヶ月
3	36	年2回の取り組みは、近所にも声掛けして行っています。ただし、近所の参加は実現していません。2階の利用者を実際に背負って降りる等、具体的に実施しています。消防署主催の訓練にも参加しています。	備蓄は在庫の米やミネラル水を多めに確保していますが、簡易トイレやヘルメット等の用具についても今後必要なものを揃えます。	簡易トイレやヘルメット等の防災用具について必要か否かの検討し、必要なものを整備していきます。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。